

事例 57

タイトル: 自分の家と思って混乱している入居者支援

・ <事例の状況>

夜間急に起きて居室から出てくる。他の居室に寝ている入居者を見て「私の家なのに勝手に入ってきて。」と大声で怒鳴ることや、トイレに起きてきた他の入居者に会い、「誰に言って入ってきたの?」と大声で聞きトラブルとなることがある。

・ <この事例で課題と感じている点> 他の入居者が寝ている時に大声で怒るため、他の入居者も混乱・興奮してしまう。他の居室に入るのを職員が止めようとする、「あなたに関係ないでしょ。」と怒るため困っている。

・ <キーワード>

グループホームを自分の家と思い込んでいるが、常にそう思っていない様子。何かのきっかけでそう思うことがある。

・ <事例概要>

【年齢】 80歳代半ば

【性別】 女性

【職歴】 教員 事務職

【家族構成】 長男、長女

【認知機能】 測定未実施

【要介護状態区分】 要介護3

【認知症高齢者の日常生活自立度】

【既往歴】 高血圧、リウマチ性多発筋痛、高脂血症

【現病】 認知症、高血圧、リウマチ性多発筋痛、高脂血症

【服用薬】 エースコール錠、プレドニン錠、パリエット錠、コリネールCR錠

【コミュニケーション能力】 正常

【性格・気質】 基本的に穏やか、興奮すると大きな声で訴える

【ADL】 食事、排泄自立、着脱も自立だが、衣類を裏返して着ることがある。腰痛があり長い距離は歩けない。

【障害老人自立度】 A1

【生きがい・趣味】 コーラス（歌を歌ったり、指揮をすること）。犬が好きで見たり触ったりすること。

【生活歴】 6人兄弟の末っ子として生まれる。学校を卒業し、教員となる。何年か働いた後結婚し2人の子供をもうける。子供の面倒を見る人がいなかったため退職する。子供が中学に入ったころ、知人の紹介で仕事に出るようになる。事務職で60歳まで働く。5年程前から、買い物をする毎日同じものを買ってくるようになる。1年程前、自宅に長男と住んでいたが、

一人でタクシーに乗って出かけ帰れなくなったり、夜に「家に帰る」と言って外に出て行くことがあった。その頃から在宅介護サービスを受けた後、ショートステイを利用し、現在のグループホームに入居し現在に至る。

【人間関係】 長男、長女ともに月に1回ぐらい面会あり

【本人の意向】 穏やかに安心して過ごしたい

【事例の発生場所】 グループホーム